

機密

官房第四一八號

軍艦陽田  
二軍部所  
上海おイト  
会社

軍艦陽田二番人  
手置ク件

大臣 権

副官

總務長官

三十七年二月十二日 起案

參事官

發付  
二六 法裁函

經理局長

軍務局長

司員

司員

司員

艦政部長

第一部長

第二部長

第三部長

第四部長

會計課長

部員

會計課長

第一部長

第二部長

第三部長

第四部長

會計課長

部員

部員

部員

部員

部員

部員

部員

0256

本局事務  
支出方  
經理

14

5



三五



0256

本島事務所より仲費の  
 支出方ハ貴局へ存  
 少方ハ本島事務所  
 經理員ヨリ申  
 郵政本部

0257

法 軍

保費也といふなり  
 成りしより  
 海軍に於て  
 乗  
 人ヲ置クコト必要ト存ルニ付  
 兵部總長一  
 造船  
 職之一人外ニ傭人一人ヲ着  
 本艦  
 附テ置ク事トシ  
 在費五  
 傭人給料一月金三拾圓  
 臨時事件費  
 雜費  
 支出  
 印高裁  
 也

0259 0258

海軍

保愛也之んりや、お成り自下り種海軍之存テ

人ヲ置クコト必要ト存ルコト兵部總長一人造如

職之一人外ニ傭人一人ヲ着トテテ本艦ニ

附テ置ク及トシ右職之三人ヲ着トテテ本艦ニ

傭人給料一ヶ月ノ額トシテ本艦ニ着トテテ本艦ニ

行高裁也

行高裁也

0259

0258

艦政本部

第三部長

第四部長

第一部長

電信

三十七年二月十日

郵政本部長

上海堀田

番人六兵署組長一人  
 造船職工二人  
 雇人一人  
 指定之タリ雇人一人  
 原外係  
 月額三十圓支給ヲ要ス  
 又西會社トモ保管花敷料ノ費用  
 ヲ要セズ但毎月保険料仕掛要ス  
 費額ハ後ヨリ報告スベシ

0260

0261



艦政本部長



第三部長



部員



會計課員



副官



參事官

發行  
二十六日

決裁満

大臣

三十七年乙月

日起案

總務長官



軍務局長

局員



經理局長



技師



軍艦陽日増子

軍艦陽日：左記ノ事急要ノモノト認ム

官房第五九五號

一母

0262



あ

三



注 算

施行方認可あり其費用比千七百八十兩  
之給見ゆ之と云本船製造(書)給算内千支  
千之及け以給算裁也

0263



軍艦陽田新築改修工事  
 一 船所寬下部甲板鐵張方  
 一 船所前方隔壁下部右綿張方  
 一 諸室寢室三ノボ下及外側張方  
 一 電修理並上蓋改修  
 一 彈藥庫入口改修  
 一 船所烟突長並下付方  
 右

海

軍

0264

艦政本部長



第三部長



部長



第二部長



會計課長



副官



參事官

三十七年二月十六日起案

發行  
二日法裁局

大臣

總務長官



經理局長



軍務局長



軍艦隅田未済之軍費減額及保險料仕拂件

軍艦隅田ハ二事ヲ中止シ之ハハコトハイドト會社、仕拂フベキニ

官房第六〇二號

一五

五

0265

經理

中會所事務  
書局事務

新工

向

三

天



0265

中會傳付事件費、雜件費、出方、  
書局、存子、兩印、立子、中、也

經理の事

協政本部

0266

事務ノ内ニ事務未済ニ對スル金額ハ千三百三拾兩ニテテ  
 ヲ総額ノ内ヨリ引去リ別紙計算書ノ通算額壹萬五  
 千七百四拾四兩一〇ヲ仕拂ヒ結ルノ後又本館ヲ同會社  
 ニ保及セシムルニ付テハ保險高ヲ計拾萬兩(組立費毎々元保險高ハ拾七  
 千七百四拾四兩一〇ニテテ)  
工事務仕拂高ヲ加ハ拾七萬四千  
四百一〇トナル之ヲ切上ケ計拾萬兩トシテテ)  
 下定メ其保險料毎月五兩計拾五兩ノ  
 仕拂ノ要ニ付テハ臨時事件費、雜件費ヨリ支出スル  
 所存ニ付以テ印高裁也

決算

事務ノ内ニ事未済ニ對スル金額ニ千三百三拾兩ニテテ  
ノ総額ノ内ヨリ引去リ別紙計算書ノ通算額ニ充テ  
千七百四拾四兩一〇ヲ仕拂ヒ結ルノ後又本館ヨリ同會社  
ニ保及セシムルニ付テハ保險高ク引給メ兩（組立契約ニ在リテハ保險高ク引給メ兩ニ付テハ組立費及引給メ兩ニ付テハ）  
保險料毎月一〇〇引給メ兩ノ仕拂ヲ要スルノ旨臨  
事件費ノ雜件費ヨリ支出スル事請ヒ付ル  
高裁ナシ

0268

0267

軍艦隅田組立費及増工事費計弄書

上海 兩 西 日本貨 四

一兩、白  
是田以拾五錢四厘

組立費契約高

六八〇〇〇 八五七三〇

舷側船底塗方

三十六年十一月  
海總才三八七号

三三〇〇〇 四一三八二

内部諸室塗方

三十六年十一月  
海總才三八七号ノ二

三四〇〇〇 四二六三六

諸倉庫新設

三十六年十一月  
官房才三四号

二〇〇〇〇 二五〇八〇

兵員室板張方

同

二五〇〇〇 三二三五〇

檣園部新設

同

二四〇〇〇 三〇〇九六

船體却新設防塗

三十六年十一月  
官房才四二号

五〇〇六〇 六二七五三

材料損害修理

三十六年十一月  
官房才二七号

三九四八〇 四九五七九

0269

防蚊網新設

三十五年三月  
官房三八六号

二七〇〇〇

三三八六〇

檳榔嶼新設

同

七五〇〇

九四〇五〇

船體部陸送新設

三十五年三月  
官房五九五号

二七八八三〇

三四九六五八

総計

二〇、七四四一〇

二六、〇一三一一

内

組立費及四拂仕拂倚

三、四〇〇〇〇

四、二六三六〇

差引仕拂者倚額

一七、三三四一〇

二七、四九五〇一

工事者手元金等分引去

一、三三〇〇〇

一、六六七八〇

残額

一六、〇〇〇

二、〇〇八二六八

工事者手元金等分引去

二七〇〇〇

三、三三八八〇。防蚊網新設分等

再差引

仕拂フハキ高

一五、七四四一〇

一、九七三三一一〇

一清貨拾七萬千五百兩

是ハ曩ニ組立契約ノ際本艦及機械悉皆保險ニ

附シタル金額

一清貨壹萬九千四百四拾四兩拾仙

是ハ組立工事契約高并ニ増工事費トシテ會社

ニ仕拂スベキ金額

合計

清貨拾九萬六百四拾四兩拾仙ヲ切上リ

清貨卅拾萬兩トシ

右金額ヲ以テ保險ニ附シ料金仕拂高ハ月額清

要  
置



貨五百部拾五兩ニシテ十分ノ二、六二五ノ割ニ當ル

参考)

船體概算製造費ノ任拂額ハ

英貨七萬六千五百參拾磅ニシテ

此金拾六萬千參百八拾五圓參拾九錢ナリ

0272

艦政次部長 有馬

第三部長 磯

第一部長 等

會計局長 等

副官

第四部長 等  
事務官

發行  
二二六

大臣

次官  
總務長官

一九三〇年三月廿五日 起案

軍務局長

經理局長

主任局員

主任局員

勝

案

軍艦 陽田ヲボイドト會社 保管 在之ルリニ 取次ム

官房第七二二號

母

官

三水

清水

勝

1030

0273

自造船隻智友ノ移テ右記三名ヲ著人トテ留メ  
置テ陽射水トシテ在海上船隻船員ノ  
於テ右著人ノ監督ヲ行フ又傭人  
加藤良一氏船隻船員ノ移テ傭人  
余也トシテ事一ノ取計ナキ事トシテ其旨  
船員ノクハ訓令ナキ事トシテ其旨  
頼中法也

自テ傭人月給金主給由並ニ職工三名ノ滞在  
旅費ハ島省ヨリ船員ノ送金可成  
各中ノ一後方ヲモ取斗テ事トシテ

三十七年二月廿日  
海軍功友

海軍功友宛

造船職工船越董吉印  
造船職工河島房吉  
上海備人兄若加藤 是

録印

海

軍

0275

續 歴 書

慶長五年在尾市在芳野所之岁也士族

如 蒙 是

元禄元年甲申六月之日生

元禄五年 尾欠リ命ス 多分之内是は持部

日 八月 尾欠リ命ス 尾欠リ命ス 尾欠リ命ス

日 九月 尾欠リ命ス 尾欠リ命ス 尾欠リ命ス

日 四月 凱 旋

日 六月 尾欠リ命ス 陸 軍 省

日 尾欠リ命ス 尾欠リ命ス 尾欠リ命ス

0276

月經參照の... 備... 番人ノ復歴... 二月... 堀田大尉...

省

書部

史部

0276

月經參考の三十一  
 番人ノ復曆  
 二月廿九日  
 堀田大尉より  
 0277

三月廿八日

此法正八年秋後、功修熟八等瑞寶寺及金

三十五回ヲ授ケ賜フ

賞熟局

三月廿九日

全七日ノ吏共ス

陸軍省

三月

全山拾田全上

日

三月廿一日

自今月俸給者ヲ給ス

日

三月廿二日

全山拾田全上共ス

日

三月廿三日

自今月俸給者ヲ給ス

日

三月廿四日

全四拾田全上共ス

日

三月廿五日

全欠ヲ免ス (五郎用銀三)

日

四月

全欠ヲ命ス (四郎用銀四)

陸軍省

0278

元在吉原支那船務取扱所  
口

二月 船務取扱所  
口

全六城自其具又  
陸軍省  
口

上川派出所  
口  
陸軍省  
口

二月 依願更任  
口

右之通候也  
口

治平二年二月  
口  
東是  
口

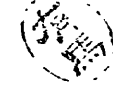
0279



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0280

總務部長



會計課長



第三部長



部員



第四部長



會計課長



會計課長



會計課長



會計課長



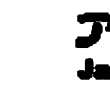
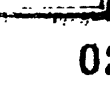
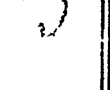
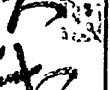
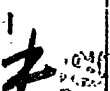
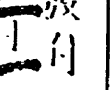
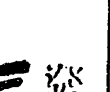
會計課長



會計課長

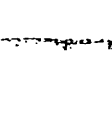
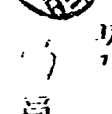
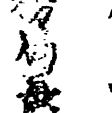
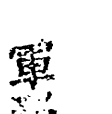


副官



大臣

總務部長



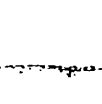
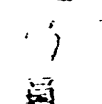
七年二月廿七日

起案

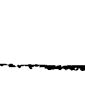
三二日決裁済

發行

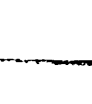
軍務局長



經理局長



主任局長



軍艦隅田核園部附屬品保除料及製料

勝

軍艦隅田推進器及核園部附屬物ヲ日本郵船株式會社

官房第七七五號

一頁

五

0281

上海支店に預けられたる之の對倉庫賃料及保險料は  
 拂上りたる左の通り臨時の件費雜件費より支出  
 せられたるを以て仰高裁り也

保險料毎月三兩

倉庫料毎月一兩

推進器の修理

四兩

不要

クライドストレーの修理

六〇仙(〇.六兩)

一〇仙(〇.一兩)

ボルト及ナット類の修理

四〇仙(〇.四兩)

一〇仙(〇.一兩)

計

毎月五兩

毎月二〇仙(〇.二兩)

0282

浦東イシターナレヨナルドックニ繋留セル軍艦隅田守  
衛中尤ノ各項通り心得フヘシ

造船監督官海軍大尉蛭田英夫

一、燈火ハ燭燭ノ外一切使用スルヲ禁ス尚必要時以外ハ必  
ズ火氣ヲ残留セサルヲ要ス

二、出来得ル火艦内掃除ヲナスヘシ

三、雨天勝チノ時ハ天候次第各倉庫ハ乾燥法ヲ行  
フヘシ

四、繋留シアルフスチールワイヤレハ潮ノ干満ニヨリ時々注意ヲ  
要ス又接觸セル部分ハ吉帆布等ニテ時々捲キ換ス  
ヘシ

五 舢板等ヲ舩側ニ繫留セシメザル様又妄リニ外人ヲ艦内

ニ徘徊セシメザル様注意スベシ

六 暴風等ニ際シ不測ノ危険ニ付テハ會社之レガ保護

ニ任ズト云モ守衛者ハ常時尚適備ノ注意ヲ施ス

ヲ要ス

七 日誌ヲ作り置キ特種ノ出来事ニ對シ之レカ記入ヲナス

ノ各國軍艦ノ出入港(之レハ直ニ領事館ニ通知スベシ)

八 日露商船ノ出入港

ヨリ異常ノ天候及ビ之ニ施シタル會社ノ處置

ハ其他必要ト認ムル事項

ハ常道者ノ氏名

八 異常ノ事件ニ際シ到底守衛ニ於テ所理シ難キト

認ムル中ハ直ニ會社支配人モリハムニ通報スヘシ

尚領事館ニ通報シ必要ト認メタル中ハ直ニ之レヲ

報告スベシ

九 守衛者ノ上陸ハ尤ノ制限以内ニ於テ之ヲ許可ス

成ルヘク交代頻ク作リ上陸スル

如何ナル場合トモモ総員同時ニ其監視外ニ出ルヘカ

ラス

一〇 守衛者ハ殊ニ其言行言動ニ慎重ノ注意ヲ要ス

18

19

0286

平七年 万井六日

堀田山女、高居三女、福光

平七年 万井七日

和船名社、錦行、延一通

増進界の事

万井一日

和船名社、錦行、延一通

和船名社、錦行、延一通

右保障會及科内訳書

支那費用一覽表

右平八日、平井六日、山女、高居三女、福光

0287



大正  
拾圓

總政本部長有馬

第三部長

第四部長

部員

會計課長

副官

大臣



總務長官

二十九年七月五日 起案

參事官

發行  
三五

決裁

軍務局長

局長

經理局長



軍艦伏見材料陸揚場所

軍艦伏見上海於組立八半豫定

官房第八二七號

0288

材料二月三日英國より積出之本月廿四日上海に  
 到着する筈有り然し目下紐立ヲナラ能ハカ  
 ルニ自上海に於テ日中郵船会社ノ倉庫に積テ置ク見  
 出シテ予同会社ニ交渉スルニ倉庫に格納スルニ支  
 ナキニ重量物陸揚ノ設備無ク又オイトム会社ニ  
 積ケルニ或ハ出来サルニテトモ思考スルニ同会社ノ  
 技術ニ隅田紐立ノ実況ニ徴スルニ予不熟練且代  
 價不廉ノ嫌有クハオイトム会社ニ積ケテ置クハ  
 以テ  
 此際右伏見材料搭載ノ汽船ヲ佐  
 世保回航ニシテ積ケテ運ビ佐世保工廠に格納  
 スルニ改定積載此般作高裁也

0290 0289

材料二月三日英國ヲ積出シ本月廿四日上海  
 到着スル答ニ有ク然レ二月下組立ヲナス能ハカ  
 ルニ上海ニ於テ日中郵船会社ノ倉庫ニ預ケ置ク見  
 出シテ同会社ニ交付スル倉庫ニ移納スル事支  
 ナキニ重量物陸揚ノ設備無ク又オイト会社  
 預ケル下ニ或ニ出来サルニテ上ト思考スルニ同会社ノ  
 技術ニ隅田組立ノ実況ニ徴スルニ予不熟練且代  
 價不廉ノ嫌有クシテオイト会社ニ預ケ置クハ  
 好ミシカラスト有ル故ニ此際右伏見材料機  
 載ノ汽船ヲ佐世保ニ回航セシムル手續ヲ盡シ  
 佐世保工廠ニ移納スル事ニ改定ス成るハ以  
 作高裁也

0290 0289

總務長官 河馬

第三部長 齋藤

部長

會計課長

副官

井出 參事官

發付 六月廿九日

大臣

三十七年六月廿九日起案

總務長官



軍務局長



局長



土山

經理局長



局長



案

送第一九六号ノ送付者成ル軍艦 隅田

官房第一八八號ノ也

母 官

0291

甲板漏水具他修理費の件在上海小田切総領  
事田君ノ函ヲ以テ右ノ如クツアーテムボイト  
●豫算書ノ趣リ同社ヲ以テ工率施行セシメ度  
糸小田切総領事ノ於テ契約書中ノ積少加計  
を本迄也

三十七年六月廿七 海軍大臣

外務大臣宛

此ノ事件ノ費上海西百三十三番ノ当者  
經理自ラノ在り海軍總領事ノ送呈  
可也也

附記  
本館、製造業、  
海軍、陸軍、  
支那、支那、  
支那、支那、  
支那、支那、

0293

艦政本部



第五六

軍艦隅田甲板漏水修理工方  
園し其月午七附皮所外一八八号二  
シ以テワ中州ハ早達立上成少田切  
役事ノ及福世置り此台新日海修  
お向寫し通ノ回冬布一其名有之友  
以迄向りや

お向之臣貝膏少本基所大下

海軍大臣貝膏少本基所大下

第三號

官房第一八八號之三

卜各首

0294





寫

公任牙二比六号

軍艦隅田甲板漏水修理之圖

件

本月三十日付送第一号書付リ以テ軍艦隅  
 田甲板漏水平代破損ノ箇所ニ對シ修理  
 工費繰上ラズシテ送付スルヘキ旨ト下付ノ概  
 款ハ信ヲエス、シー、フアーナム、ボイド會社  
 ニ命シ出向ノ通リ修繕費ヲ徴シテ、  
 及此送付ノ旨ヲ査閲シ、且、此修繕費一  
 軒交シ上高歩目下當代ノ二番目ニ修繕  
 ニ接近及修繕之旨ト為シテ、何事ノ決定ヲ見  
 必要ノ有リキヲ將テ書付リ送付スル  
 旨、四月廿七日迄ノ限ニシテ

ト 各 頁

0296

夕 考 出

三月二十一日

互上

信使事少田切為著

外務省図書少書部

0297

Copy

Shanghai, 13th June 1904.

M. Odagiri Esq.,

H.I. Japanese Majesty's Consul General.

Sir,

In answer to your enquiry we herewith offer to execute the following repairs to H.I.J.M. "Suwida":-

1. To fit double canvas on over leaky parts of linclum.
2. To caulk shade deck fore and aft and lay cotton canvas on paint and give two coats of paints over canvas.
3. The signal pole and the coaming over crews space to be covered with double canvas and sewed at their extremities.
4. Supply two wood plugs for chain pipes.

For the sum of Shanghai Taels One hundred and thirty five (\$135.)

Trusting to receive your order,

We have the honour to remain Sir,

Your faithfully,

S. C. FARNHAM, BOWD & CO., LTD.

(signed) S. Groundwater,

Director.

0298

上海  
百  
年  
所

0298

上海兩錢金  
老田八錢四毫

百三枚五兩

錢金百兩  
百兩五兩  
百兩五兩  
百兩五兩  
百兩五兩

0299